

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年1月29日

上場取引所 JQ

上場会社名 タイヨーエレクトリック株式会社

コード番号 6429 URL <http://www.taiyoelec.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 佐藤 英理子

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長

(氏名) 渡邊 暢彦

TEL 052-502-9222

四半期報告書提出予定日 平成22年2月10日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	17,337	64.2	2,285	—	2,282	—	2,105	—
21年3月期第3四半期	10,559	—	△116	—	△54	—	△118	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	92.82	—
21年3月期第3四半期	△5.20	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	19,686	13,353	67.8	588.73
21年3月期	17,841	11,340	63.6	499.97

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 13,353百万円 21年3月期 11,340百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,800	143.2	4,300	961.4	4,300	806.7	2,900	606.2	127.85

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- | | |
|-----------------|---|
| ① 会計基準等の改正に伴う変更 | 無 |
| ② ①以外の変更 | 無 |

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	22,833,748株	21年3月期	22,833,748株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	151,414株	21年3月期	151,414株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	22,682,334株	21年3月期第3四半期	22,766,880株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、輸出や生産に持ち直しの兆しが見られるものの、下期以降の円高、デフレ局面などを背景とした企業収益の悪化や雇用情勢の低迷など、依然として個人消費は厳しい状況が続いております。

遊技機業界におきましては、プレイヤー人口が引き続き減少傾向にあるものと推測される中、遊技機ホール間の顧客獲得に向けた競争の激化が続いており、遊技機ホールは各メーカーが投入する数多くの新機種の中でも話題性・ゲーム性が高く集客力の見込める遊技機を選別する姿勢を一層強めております。

一方で、もっとパチンコを手軽に楽しみたいというニーズに応えた低単価営業も定着しており、不況下にあってもプレイヤー人口増加に向けた遊技機ホールの取り組みに一定の成果も見受けられるなど、一部に明るい兆しも現れております。

このような状況のもと、当社は、コーポレートブランドの確立をコンセプトに、時代と情報を先取りしたゲーム性・ビジュアル性・サウンド性・オリジナル性および豊富な演出に重点をおき、クオリティの高い機種開発を行ってまいりました。

第3四半期のパチンコ機につきましては、「CR BLOOD+(ブラッドプラス)」(平成21年9月発売)を継続販売しましたほか、超高速変動に加え業界最大級のドット表示と役物の多彩なアクションによる迫力ある演出でプレイヤーを魅了する「CR ゴールドラッシュ」シリーズ(平成21年12月発売)を販売しました。パチスロ機につきましては、誰でも分かりやすく遊びやすいスペックのサミー社製パチスロ新機種「ベルサイユのばら」(平成21年10月発売)を販売しました。

以上の結果、当第3四半期累計期間の販売台数は、パチンコ機54,011台(前年同期比 23,067台増)、パチスロ機 4,077台(前年同期比 2,191台減)となり、売上高は、173億37百万円(前年同期比 67億77百万円増)となりました。

また、利益面につきましては、引き続き適正数量の部材発注をするとともに、経費の削減に努めたものの、「CR ゴールドラッシュ」シリーズの一部スペックの販売を延期したこと、およびパチスロ機「BLOOD+(ブラッドプラス)」の販売時期を第4四半期に持ち越したことから、売上高減少分を吸収しきれず第3四半期は損失計上となり、第3四半期累計期間の営業利益は、22億85百万円(前年同期比 24億1百万円増)、経常利益は、22億82百万円(前年同期比 23億36百万円増)、四半期純利益は、21億5百万円(前年同期比 22億23百万円増)となりました。

2. 財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

資産は196億86百万円(前事業年度末比 18億45百万円増)となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が10億22百万円、原材料及び貯蔵品が9億64百万円減少したものの、一方で現金及び預金が19億32百万円、有価証券が20億円、それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

負債は63億32百万円(前事業年度末比 1億68百万円減)となりました。これは主に、未払法人税等が1億5百万円増加したものの、一方で未払金他その他流動負債が3億13百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産は133億53百万円(前事業年度末比 20億13百万円増)となりました。これは主に、利益剰余金が19億91百万円増加したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は111億87百万円(前事業年度末比19億47百万円増)となりました。当四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は48億56百万円であります。これは主に、税引前四半期純利益22億25百万円、売上債権の減少10億22百万円、およびたな卸資産の減少9億97百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は27億32百万円であります。これは主に、有価証券の取得による支出20億円、および有形固定資産の取得による支出6億91百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1億76百万円であります。これは、リース債務の返済による支出63百万円、および配当金の支払額1億12百万円があったことによるものであります。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、平成21年10月29日に公表いたしました業績予想と変更ございません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 固定資産の減価償却費の算定方法

当事業年度に係る減価償却費の額を期間按分しております。

② 棚卸資産の評価方法

当四半期会計期間末における棚卸高の算出に関して、実地棚卸を省略し前事業年度に係る実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

③ 法人税等の算定方法

法人税等の納付税額の算定に関して、加味する加減算項目を重要なものに限定しております。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期財務諸表
(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,227,653	9,294,901
受取手形及び売掛金	1,812,516	2,834,770
有価証券	2,000,000	—
商品及び製品	—	32,052
仕掛品	6,667	7,290
原材料及び貯蔵品	849,947	1,814,313
その他	151,202	193,225
貸倒引当金	△1,600	△2,500
流動資産合計	16,046,388	14,174,053
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	735,598	731,492
工具、器具及び備品（純額）	910,582	924,941
土地	883,965	883,965
その他（純額）	296,922	361,859
有形固定資産合計	2,827,069	2,902,259
無形固定資産	52,407	35,361
投資その他の資産		
その他	777,883	747,219
貸倒引当金	△17,427	△17,778
投資その他の資産合計	760,456	729,440
固定資産合計	3,639,933	3,667,061
資産合計	19,686,322	17,841,115
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,730,448	2,679,817
短期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	133,339	27,809
賞与引当金	92,529	102,985
その他	732,008	1,045,406
流動負債合計	5,188,324	5,356,018
固定負債		
退職給付引当金	74,269	41,202
役員退職慰労引当金	796,358	764,651
繰延税金負債	6,137	5,810
その他	267,390	332,899
固定負債合計	1,144,155	1,144,564
負債合計	6,332,480	6,500,583

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,125,142	5,125,142
資本剰余金	5,161,314	5,161,314
利益剰余金	3,121,921	1,130,010
自己株式	△64,955	△64,955
株主資本合計	13,343,422	11,351,512
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,419	△10,980
評価・換算差額等合計	10,419	△10,980
純資産合計	13,353,841	11,340,531
負債純資産合計	19,686,322	17,841,115

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	10,559,831	17,337,159
売上原価	7,164,597	10,614,116
売上総利益	3,395,234	6,723,043
販売費及び一般管理費	3,511,946	4,437,770
営業利益又は営業損失(△)	△116,711	2,285,273
営業外収益		
受取利息	12,911	11,921
受取配当金	3,259	1,475
物品売却益	44,439	—
その他	26,308	12,160
営業外収益合計	86,919	25,557
営業外費用		
支払利息	19,027	23,099
支払手数料	5,166	—
その他	137	4,942
営業外費用合計	24,331	28,041
経常利益又は経常損失(△)	△54,124	2,282,789
特別利益		
貸倒引当金戻入額	12,095	—
固定資産売却益	—	15
特別利益合計	12,095	15
特別損失		
固定資産除却損	47,998	20,442
投資有価証券評価損	—	36,630
特別損失合計	47,998	57,072
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△90,027	2,225,731
法人税、住民税及び事業税	11,800	120,410
過年度法人税等	16,581	—
法人税等合計	28,381	120,410
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△118,409	2,105,321

(第3四半期会計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	1,199,026	1,990,808
売上原価	721,327	1,465,392
売上総利益	477,699	525,416
販売費及び一般管理費	936,987	1,265,438
営業損失(△)	△459,288	△740,021
営業外収益		
受取利息	3,294	4,530
受取配当金	1,235	343
物品売却益	3,780	—
その他	4,345	3,410
営業外収益合計	12,655	8,284
営業外費用		
支払利息	5,855	7,455
支払手数料	1,363	—
その他	—	1,166
営業外費用合計	7,219	8,622
経常損失(△)	△453,851	△740,358
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,853	△625
固定資産売却益	—	15
特別利益合計	1,853	△609
特別損失		
固定資産除却損	16,808	14,243
投資有価証券評価損	—	△4,620
特別損失合計	16,808	9,623
税引前四半期純損失(△)	△468,806	△750,591
法人税、住民税及び事業税	3,900	△473,000
法人税等合計	3,900	△473,000
四半期純損失(△)	△472,706	△277,591

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△90,027	2,225,731
減価償却費	406,796	574,875
有形固定資産除却損	30,168	20,020
有形固定資産売却損益(△は益)	—	△15
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△23,233	△1,251
賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,468	△10,456
退職給付引当金の増減額(△は減少)	14,251	33,067
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	20,923	31,706
受取利息及び受取配当金	△16,171	△13,397
支払利息	19,027	23,099
投資有価証券評価損益(△は益)	—	36,630
売上債権の増減額(△は増加)	3,030,146	1,022,914
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,850,373	997,041
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,973,456	△119,163
その他	△380,840	59,053
小計	842,491	4,879,857
利息及び配当金の受取額	15,549	11,411
利息の支払額	△18,097	△22,538
法人税等の支払額	△32,596	△12,450
営業活動によるキャッシュ・フロー	807,346	4,856,280
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額(△は増加)	△285,000	15,000
有価証券の増減額(△は増加)	—	△2,000,000
有形固定資産の取得による支出	△484,093	△691,607
有形固定資産の売却による収入	—	20
ソフトウェアの取得による支出	△13,199	△9,302
投資有価証券の売却による収入	38,800	—
その他	△28,262	△46,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△771,755	△2,732,266
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△300,000	—
長期未払金の返済による支出	△82,575	—
リース債務の返済による支出	—	△63,527
自己株式の取得による支出	△63,137	—
配当金の支払額	△114,031	△112,732
財務活動によるキャッシュ・フロー	△559,744	△176,260
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△524,154	1,947,752
現金及び現金同等物の期首残高	9,781,722	9,239,901
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,257,568	11,187,653

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。